

令和4年度 校内研究の方向性・全体計画について

1 研究主題

「自分の考えを広げ深める児童の育成」
～国語科における話し合い活動の工夫を通して～

2 主題設定の理由

学習指導要領に示されている、予測困難な変化の激しい社会を切り拓いていくために必要な生きる力を育むため、学校教育全体を通して三つの柱、生きて働く「知識及び技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養の資質・能力を育てることが求められている。

本校の児童は、素直で落ち着いて学習に取り組むことができる。そのため、与えられた課題に対しても真面目に取り組むことができる。そこで、学校教育目標を「ふるさとを愛し、自ら学び、たくましく生きる児童の育成」とし、昨年度までの校内研究で重点的に「自ら学び続ける児童」を育成する授業改善に取り組んできた。特に自分の考えを表現する書く活動や、考えを伝え合うための話し合い活動に力を入れてきたので、主体的に学ぶ姿勢がみられるようになってきた。しかし、自分なりの考えをもち、伝え合うことはできるようになってきているが、ただ伝え合うだけで、話し合い活動の中で考えを広げ深めるまでには至っていない。

そこで、「児童が自分の考えをもとに、主体的・対話的な学びを通して、考えを広げ深める力」を育成することが、本校の課題だと考える。まず本校の児童の「自分の考えをもち、表現する力（書く力と伝える力）」は、これまでの研究からある程度身につけていると考え、今後も継続し、更に高めていく。今年度は、それをもとに児童が、学習時間における話し合い活動を通して、「自分の考えを広げ深める」ことに重点をおく。児童がもっていた自分の考えを再度見つめ直す（友だちの考えを聞いて、自分の考えと比べながら、もう一度自分の考えを整理することができる）授業展開をめざす。具体的には、二人・グループ・全体などのさまざまな話し合い活動形態を実態に応じて仕組み、児童が他者の考えを聞いた上で、もっていた自分の考えの付加、修正、強化などをしながら、考えを練り上げていくことができるようにする。

3 主題における目指す児童の姿

○「自分の考えを広げ深めることができる」とは…

- ①付加…他者の考えを聞いて、納得したり、考えを増やしたりする。
- ②修正…他者の考えを聞いて、自分の考えを変えたり、よりよいものにしたりする。
- ③強化…他者の考えを聞いて、自分の考えに自信をもつ。

4 研究の目標

児童が、自分の考えをもとに、「話し合い活動」を通して、自分の考えを広げ深めることができる授業展開をめざす。

5 研究の仮説

「読むこと」の領域において、「多様な考えにふれることができる話し合い活動」と「もう一度自分の考えを見つめ直す時間」を取り入れた学習活動を行えば、自分の考えを広げ深めることができる児童が育つであろう。

6 研究の内容

(1) 「授業づくりのステップ」を基にした指導過程を考えて、児童が見通しをもって主体的に取り組めるための授業を行う。

- ① めあての設定
- ② 有効な発問（中心発問、問い返し・切り返し発問など）
- ③ 書く活動の工夫
- ④ 多様な考えにふれることができる話し合い活動の工夫
・場の設定、視覚的な手立てなど
- ⑤ もう一度自分の考えを見つめ直す時間の設定
・個に戻る「(仮)じっくりタイム」の設定など
- ⑥ ふり返りの視点

(2) 児童の実態調査の活用（児童の学習に対する理解・意識の変化を把握する）

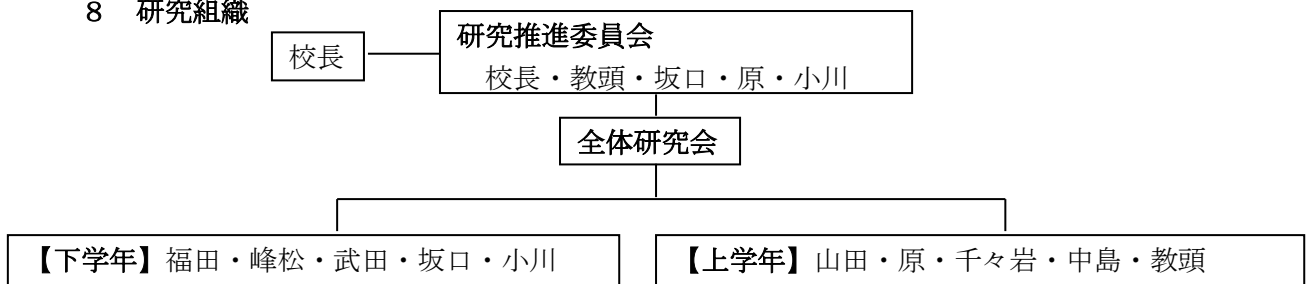
(3) 学習習慣を身につけさせるために以下のことを取り組む。

- ① 有田っ子スタイル
- ② 朝読書
- ③ スピーチタイム
- ④ スキルタイム（国語・算数）
- ⑤ ノーテレビ・ノーゲームデー
- ⑥ 暗唱
- ⑦ 音読集会
- ⑧ おすすめの本30冊

7 研究の方法

- (1) グループ研による教材分析や単元計画等の事前研究
- (2) 指導案検討・模擬授業・事前授業・発問の検討
- (3) 文献及び、講師招聘による理論研究
- (4) 「有田っ子スタイル」の実践と改訂

8 研究組織



9 研究計画

月	内容	月	内容
4	5日：第1回研究推進委員会 ・教科の確認・研究主題・講師依頼 19日：第2回研究推進委員会 20日：第1回全体研究会 ・研究主題・仮説・内容等提案 ・年間計画提案・スピーチタイムについて・ グループ別打ち合せ（授業日、単元決め）	10	26日：第12回全体研究会 ・研究授業④（4年） 「ごんぎつね」 ー講師招聘ー
5	11日：第2回全体研究会 ・指導案の書き方等 25日：第3回全体研究会（グループ研） ・2年指導案検討等（下学年 G） ・打合せ等（上学年 G）	11	2日：第13回全体研究会 ・事前研究⑤（3年）指導案検討 9日：第14回全体研究会 ・研究授業⑤（3年） 「三年とうげ」 ー講師招聘ー 25日：第15回全体研究会 ・事前研究⑥（5年）指導案検討
6	1日：第4回全体研究会 ・事前研究①（2年）指導案検討 22日：第5回全体研究会 ・提案授業（研究授業①）（2年） 「スイミー」 ー講師招聘ー 29日：第6回全体研究会 ・事前研究②（6年）指導案検討	12	14日：第16回全体研究会 ・研究授業⑥（5年） 「大造じいさんとがん」 21日：第17回全体研究会 ・校内研究のまとめの提案
7	13日：第7回全体研究会 ・研究授業②（6年） 「やまなし」	1	25日：第18回全体研究会 ・授業の実際と成果と課題に ついて ・ふり返りアンケート
8	3日：第8回全体研究会 ・事前研究③（教材研究3年） 「三年とうげ」 24日：第9回全体研究会 ・事前研究④（1年）指導案検討	2	22日：第19回全体研究会 ・校内研究のまとめ ・次年度の研究テーマの検討
9	14日：第10回全体研究会 ・研究授業③（1年） 「やくそく」 28日：第11回全体研究会 ・事前研究⑤（4年）指導案検討	3	

※下学年…全校研（2）、G研（1） 上学年…全校研（1）、G研（2）

※なかよし1組・2組も授業を公開し、事後研究会を適宜行う。

令和4年度 校内研究構想図

学校教育目標

ふるさとを愛し、自ら学び、たくましく生きる児童の育成

研究主題

自分の考えを広げ深めることができる児童の育成（1年次）
～国語科における、話し合い活動の工夫を通して～

研究の目標

児童が、自分の考えをもとに、「話し合い活動」を通して、自分の考えを広げ深めることができる授業展開をめざす。

研究の仮説

「読むこと」の領域において、「多様な考えにふれることができる話し合い活動」と「もう一度自分の考えを見つめ直す時間」を取り入れた学習活動を行えば、自分の考えを広げ深めることができる児童が育つであろう。

研究の内容

教師の授業力向上

考えを広げ深めるための学習指導の工夫

- ① めあての設定
- ② 有効な発問（中心発問、問い返し・切り返し発問など）
- ③ 書く活動の工夫
- ④ 多様な考えにふれることができる話し合い活動の工夫
- ⑤ もう一度自分の考えを見つめ直す時間の設定
- ⑥ ふり返りの視点

話し合い活動

目的・進め方・話し合う意欲・交流・共有・整理

自分の考えを見つめ直す活動

①付加 ②修正 ③強化

家庭との連携

学習習慣定着のための取組

- | | |
|------------------|------------------|
| ①【有田っ子スタイル】 | ②【朝読書】 |
| ③【スピーチタイム】 | ④【スキルタイム（国語・算数）】 |
| ⑤【ノーテレビ・ノーゲームデー】 | ⑥【暗唱】 |
| ⑦【音読集会】 | ⑧【おすすめの本】 |